

WASEDA MECHANICAL ENGINEERING

第39号
OCT. 2013

2013年(平成25年)10月1日発行

Newsletter

2013年度 機友会総会の報告

5月25日（土）機友会総会が西早稲田キャンパスの理工学部55号館S棟第3会議室で開催されました。

総会は浅川副会長（昭和41年卒）の総合司会で進められ、矢吹会長（昭和41年卒）の開会の挨拶のあと、早稲田大学副総長の橋本周司先生による「早稲田150年のビジョン」の特別講演がありました。休憩後、矢吹会長の議事進行で総会が始まり、まず、会計担当の瀬在理事（昭和56年卒）による「2012年度事業報告」「2012年度決算報告」の個々の内容の報告がありました。一般収入は会費とサポート費がほぼ前年並みに対し、一般支出は、事務局費は節約しましたが100周年記念事業があったことから前年発行しなかったニュースレターの、秋号発行があったため増加しています。

事業収支としてみると一般収入会計が5,131千円に対して一般支出合計が6,721千円となっており、このペースで行けば2016年度末には積立金を取り崩

さなければならなくなるので、収入（会費およびサポート費）増の対策が早急に、必要との指摘がありました。

別表に決算内容を前年度分（参考）と並列して載せてあります。

内野監査（昭和42年卒）より監査報告がなされ、承認されました。

「2013年度事業計画（案）」は例年通りの活動項目です。

「2013年度予算（案）」は次年次繰り越しを減額することと収入を増やすという期待で赤字決算を免れることとなっています。

質疑応答では会費を払うメリットは何か、とか広告収入を考えたらとの意見が出され今後の対策を考えることとなりました。

これら2案とも承認され、統いて学生表彰の部に移りました。石理事（昭和42年卒）の紹介で、機友会奨励論文に応募された奥村尚美君（総合機械工学科3年）「型紙としての機能を考慮した人力飛行機部品図面の製図法」と佐々木大亮君（総合機械工学科3年）「2013年全日本学生フォーミュラ大会に向けた展望」の2件の表彰が行われました。また、例年好評の機友会公認サークルの活動報告もなされました。

以上で総会の議事すべてが終わりました。

懇親会は56号館地下のカフェテリアで開催しました。岡部理事（昭和41年卒）の司会で会員物故者への黙祷のあ



と、青葉副会長（昭和35年卒）から開会の挨拶を行い、杉島和三郎元会長（昭和27年卒）による乾杯の後、懇談となりました。今回は学生の参加も多く大いに盛り上りました。

校歌斉唱は小澤氏（昭和35年卒）のもと、学生も加わった元気な歌声を響かせました。

岡部理事による閉会の辞で全ての行事が無事終了しました。

（文責 事務局 伊藤）

CONTENTS

2013年度 機友会総会の報告	1~2
イブニングサロンの報告	2
田島清蔵先生のご冥福をお祈りして	3
思い出コーナー	4
台湾機友会訪問の記 2013機友会各賞発表	4~5
機友会各賞発表	5
サポート費 会員登録 機友会事務局の新人紹介	6
機友会ゴルフコンペ開催報告	7
入院日記	8~9
会員の投稿	9
事務局からのお知らせ	9~10



橋本周司副総長の講演

2012年度 決算報告

収入の部 2012年度

項目	予算	実績	備考
会費・サポート費			
会員料(58名)	2,766,936	2,766,936	5,369,585 (13年会員料)
当期納入会費			
OB	2,000,000	1,578,235	1,069,500
学生			510,825
サポート費	1,000,000	582,290	
会費・サポート費合計	5,766,936	4,919,551	
イベント参加費・会員料			
総会登壇料費		100,000	
伊藤・アドバイザー料		164,000	
銀行・銀行 利息	250,000	1,474	
その他		0	
イベント参加費・会員料合計	250,000	211,474	
一般収入合計	6,016,936	5,131,025	
贈金・寄付金の繰り入れ			
貯蓄金	655,549	655,549	
100周年記念事業	0	1,585,458	100周年記念事業振り
特別収入合計	655,549	2,142,907	
収入合計	6,672,485	7,373,332	

(参考) 2011年度

項目	予算	実績	備考
会費・サポート費			
会員料(58名)	3,012,863	3,012,863	5,315,786 (12年会員料)
当期納入会費			
OB	1,500,000	1,322,300	1,057,000
学生			265,300
サポート費	1,000,000	627,172	
会費・サポート費合計	5,512,863	4,962,335	
イベント参加費・会員料			
総会登壇料費	250,000	110,000	
伊藤・アドバイザー料		128,000	
銀行・銀行 利息		2,115	
その他		4,500	飲食店会費(高級会)
イベント参加費・会員料合計	250,000	244,615	
一般収入合計	5,762,863	5,206,950	
贈金・寄付金の繰り入れ			
貯蓄金	4,760,379	4,760,379	
100周年記念事業	0	1,000,000	100周年記念事業振り
特別収入合計	4,760,379	5,760,379	
収入合計	11,523,242	10,967,329	

支出の部 2012年度

項目	予算	実績	備考
事業費			
ニュースレーブ会員料費	2,500,000	1,758,202	36号 2012年4月
ニュースレーブ会員料費		721,648	37号 2012年10月
学生支援費	500,000	761,400	機友会サークル増額 オリエンテーション
奨学金	80,000	9,600	ビジアルシンキング
総会・会議費	250,000	307,009	総会、理事会、名譽会員
行事・活動費	300,000	447,893	ゴルフコンペ、見学会、イブンバムチャリティション
事業費合計	3,630,000	4,005,248	
事務局費			
人件費	2,100,000	1,938,750	
交通費	330,000	325,840	
通信費	180,000	180,875	
事務用品・印刷費	250,000	163,924	
旅費	20,000	0	
データベース運営費	5,000	20,245	パソコン調整修理
振込み手数料	60,000	66,490	(15,000+3,160) 銀行間 (32,220) りそな
備費	1,000	12,000	会員生懇親会いたかへる酒
事務局費合計	2,946,000	2,715,754	
一般支出合計	6,578,000	6,721,002	
基金・積立金			
100周年準備金	0	0	
次年度準備金	96,485	652,030	
特別支出合計	96,485	652,030	
支出総計	6,672,485	7,373,932	

(参考) 2011年度

予算	実績	備考
2,000,000	1,565,365	35号 2011年4月
		9発行せず
500,000	729,000	機友会サークル増額 オリエンテーション
200,000	68,000	
600,000	298,867	総会、理事会、名譽会員
800,000	444,018	ゴルフコンペ、見学会、イブンバムチャリティション
4,100,000	3,196,250	
2,000,000	2,330,350	
350,000	347,280	
200,000	198,634	
300,000	252,900	パソコン更新
20,000	7,890	弔電
50,000	0	パソコン修理
100,000	67,617	(31,020+2,290) 銀行間 (38,487+1,360) りそな
30,000	250	寄付金振替手数料補填
3,050,000	3,206,530	
7,150,000	6,311,780	
4,000,000	4,000,000	100周年記念事業へ
373,242	655,549	
4,373,242	4,655,549	
11,523,242	10,967,329	

貸借対照表 2013年3月31日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
新宿北部便易	1,230,540	機友会基金	6,325,790
郵便振替分	6,774,400		
三菱東京UFJ銀行新宿支店	101,869	継続金	652,030
りそな銀行新宿支店	3,358,362	預り金・入金済合算	4,910,736
みずほ銀行新宿西口支店	298,086	100周年記念事業費	0
現金	124,307		
合計	11,888,563		11,888,563

※100周年記念事業費は機友会基金に百万円戻し、残金1,499,000円は預り金に組入しました。

塑性加工と半世紀連れ添って?!

講師 機械科学・航空学科教授 浅川基男

2013年3月8日機友会イブサロが開催されました。講師は機械科学・航空学科教授浅川基男先生。話の題名は「塑性加工と半世紀連れ添って?!」ということで、先生の経験された、いろいろな塑性加工の例が紹介されました。先生にとって、“連れ添って”ということばを使うほど、塑性加工の分野で長年研究をされたということを意味しております。

今回は機友会理事の伊藤正徳氏の司会で進められました。当日は、浅川先生の話を是非聴きたいと、多数のOB

会員、教員、学生が集まり、事務局の記録では54名ということでした。表題に掲げられたトランペットの製作も塑性加工で行われ、浅川先生はヤマハへ行ってその製作方法を調べたそうです。氷や鉛を管内に詰め、曲げても円形の断面が保持されるようにして加工し、後で内部の詰め物を溶解して抜いているということです。引き抜き鋼管の加工も、中子が浮いていて、固定していないで加工していると聞いてびっくりしました。このように、塑性加工は、それぞれ工夫に工夫を重ね、驚くべき高度な製品を早く、安く、加工くずを出さずに加工する、魔法のようなものだと思いました。

先生の講演は大変わかりやすく、さらに動画を使って加工過程を説明しているので、塑性加工の方法が手に取るようになります。このような講義を聞いたら、塑性加工



の方面へ進んでみようと思う学生さんも、たくさん出るのではないかと思いました。

話は1時間を超えて続きました。その後、同じ部屋で、オードブルなどをつまみながらビールを飲んで、お話しの余韻に浸りながら、珍しい知り合いと再会を喜んだりして、約1時間の歓談の時間を持りました。わたくしと同じ40年卒の人が大勢参加していましたので、近くの店で二次会も開いて帰りました。大変内容の濃いイブサロでした。次回も多数の方が参加されることをお勧めします。Don't miss it!!

(文責 萩須吉洋)



きよひろ 田島清灝先生のご冥福をお祈りして

名誉教授 大田 英輔



故田島清灝名譽教授

田島清灝先生は平成25年3月5日午前1時、そのご病床でお亡くなりになりました。享年85歳、ご家族に見守られての静かなご様子であったとのことです。“灝”の字は“水がひろく大きく流れるさま”を言い、仏教に明るいご父君のお気持ちに由ると聞いております。まさに先生のご生涯を通じてのご活躍を端的に表すお名前かと存じます。

先生は病床におられた奥様純子様の介護の傍ら、ご自身も1年に及ぶ闘病の生活を送られながら、執筆を続けられ、明るい先を見ておられたと伺います。

私が先生に接する始まりは昭和34年、ミシガン大学での留学を終えられ、当時の第1理工学部機械工学科の私達新入生のクラス担任をされた時です。早稲田の旧キャンパスの木造校舎でのことです。その数年後、理工学部再編の大事業が実施の時期を迎え、現在の大久保キャンパスの建設が始まり、機械工学科1学年450名への移行を準備するために、助教授の先生は多くの先輩諸先生と議論を交わされました。特に理工学部の流体工学系分野の実験教育をまとめる流体共通実験室の設計に諸大学の特徴を調べ、工夫に腐

心されました。多数学生教育に懸念される問題が払拭されるよう、カリキュラムや授業内容もそれまでとは一新され、学科内は言うまでもなく学科を越えた教育研究の協力指導を実現することに注力されたようです。例えば、「水力学」、「流体力学」とされていた名称を「流体の力学」とし、講義の流れを有機的にする工夫もされました。それらによる恩恵を私も享受し、多方面の学術に関心を抱き、研究面でも自由な展開が出来たものと、今に感謝致しております。

神武天皇以来の歴代諱号を濫みなく述べられることや、振動論応用数学を得意とされる一方で、先生は非常に広範な発想の持ち主でもありました。そういう特性から理工学部外、さらに学外にも多くの知己をもたれ、先生のご活躍は広い範囲に及んでおります。今、亡くなられた先生を偲ぶ文集を編集しておりますが、学内外の方々から

の思い出を語っていただき、先生に関する連名報文を載せて、先生の発想の広がりを讀みたいと思っております。

40数年間に及ぶ先生のご在職中に先生から影響を受けた卒業生は流体工学グループで1000名規模に上ります。先生の深い学識に根ざすが故に、先生の本質の話を理解し得なかつた方々も多いとは想像できます。反面、熱い信頼感を抱く方々も多数に上ります。どの方々にも先生は寛く丁寧に接して来られたと思います。

機械工学科と共に、理工学部、早稲田大学そして日本の工業教育に残された大きな足跡を偲び、深く視野の広い学術、掌の広い教育の姿勢が機械工学科に永く引き継がれてゆくよう期待しております。

大きな足跡を残して旅立たれた先生のご冥福をここに謹んでお祈り申し上げます。

合掌



2010年ホームカミングデーにおいての記念写真

思い出コーナー

~心のふるマジック友会~

昭和30年 二理 「さなえ会」

昭和30年卒 浅井 和宣

平成も25年を数えるに至り、我々昭和30年（二理）卒の仲間も齡八旬を数えるにいたった。当時木造校舎の15号館で授業を受けながら、道路を隔てた安部球場（現在は中央図書館・国際会議場）から夜遅くまで聞こえるバットの打音が今では懐かしい想い出として残っている。

あまり記憶は定かではないが、卒業して2年後位には有志によるクラス会を開催、その時に会誌の発行が企画され、昭和33年11月に第1号が作られた。ガリ版刷りの手作りであるが、卒業後、各企業で活躍しているメンバーの近況や犬養先生を交えた会話の状況が記載されている。またこの会の名称についていろいろと意見があったが、結局「稻苗会（さなえ会）」と決められた。これは担任であった和田稻苗先生の名前にあやかった会の名前である。

クラス会は数年に1回ではあるが、

大隈会館、高田牧舎、大都会、リーガロイヤルホテル等でいつも和田先生をお招きし数十名のメンバーが参加した。特に平成7年5月には和田先生の叙勲を祝って大隈ガーデンハウスにて盛大に開催され、受賞された勲章を

手に触れた感覚は忘れられない。

平成20年1月に和田先生の訃報に接し、リーガロイヤルホテルで行なわれた偲ぶ会には地方からもメンバーが駆けつけ先生のご冥福を祈った。同年4月には先生の眠る神奈川県南足柄市の玉伝寺に墓参を行ない、この時には元機械工学科事務所および機友会事務局に勤務されて居られた、久保田尚江さんも参加された。

クラス会もここ数年前から参加者が次第に少なくなってきたが、この際毎年5月に開催される機友会総会に出席し、懇親を深めようとの提案があり、ここ数年は毎回10名近くのメンバーが



関先生を囲んで 1970.10 於 大隈ガーデン

元気な姿で集まり、学生時代を懐かしみつつ語りあってきた。

昨年末には、クラス会に出席出来ないメンバーにもと、懐かしい恩師の方々の写真を含め、主なクラス会の様子、メンバーの近況等を纏め、会報としてシンプルな形で纏め発行した。

同窓メンバー84名の内、残念ながら鬼籍に入られた人が16名、住所不明者が8名であるが、今後もお互いの絆を深め、「米寿」に向かって老耄ぶりに益々磨きを懸け、思いを昔日に立ち返えり得るならばこれに勝る老いの至福ではないだろうか。



和田先生、林（郁）先生を囲んで 2003.1 於 リーガロイヤルホテル

台湾機友会訪問の記

内藤重信氏は、子供のころ台湾の小学校に在籍された。そして、今でも、その小学校の同窓会が3年に1回台湾で開かれているそうである。今年6月にその同窓会が開かれたので出席し、同窓会終了後、台湾機友会と交流することを考え、交流の実績のある石岡貞雄氏（昭和32年卒）に相談をして実行された。以下は内藤氏の報告である。

昭和36年卒 内藤重信

1. 訪問日時；平成25年6月11日（火）

①15：00～ 世紀貿易股份有限公司
董事長、鄭文哲氏を訪問。面談・会社

紹介（スライドおよびパンフレット）
を聞いた後、工場見学。切削工具による各種機械加工の製作工場で稼働中の

NCマシンの周りに3～4人の若手技術者がおり、定年間近の日本からの技術者の話を聞いていました。鄭氏によれ

ば、「日本の技術力は高く、話が合えばそうした技術力をもつ日本の高齢者をスポット的にでも受け入れたい」とのことありました。

②16:30~ 能率投資股份公司 董事長、董爌熙氏を訪問。鄭文哲氏の車で移動（新北市→台北市）董氏と面談。董氏は「世紀貿易股份有限公司、及び能率投資股份有限公司とともに、現在の規模に成長できたのも早稲田大学のお陰で、恩返しの意味も含め日本の中小企業と組み、相互補完する形ででも協力し合って外部に向かって進出して行きたい。」と言われました。機友会はできましたが、こうして集まる機

会はなかったそうです。今回を契機に、会のメンバー相互の関係を深め、お互いの発展に繋がる状況を作りたいということでした。

③17:30~ 董氏の事務所の隣の料理店で仕事を終えた機友会のメンバー7人が集まり懇親会を開催、簡単な自己紹介を行いました。その中の3名は、同期の仲間で、大学に戻り教鞭に立たれた中澤弘教授の教え子で、更にその中の唯一女性で参加された蘇素珍さんは、大学院に残り、工学博士の称号を取得されておられているには、ビックリしました。（19:00解散）

2. 所感

日本との関係を強めたいとの意向を強く感じました。（台湾企業もじわじわと中国本土の圧力があるかもしれません。）一方、海外進出を果たしてきた我が国の大企業／中小企業も、近くで大量消費国である中国への進出をてるも、一筋縄ではいかないのが実態であると思われます。こうした事態を打開し、前進させる手段として、台湾企業と連携し、中国進出を果たすのがベストな選択ではないかと思った次第です。技術士稻門会にも働きかけ、成功事例を作りたいと思いました。

W.M.E AWARD 2013 機友会各賞発表

機友会奨励賞は、総合機械工学科1年生の授業「ビジュアルシンキング」で実施した「ホイストロボットコンテスト」において、タイムが速かった上位3件を選び、賞状および賞金を授与しました。

機友会奨励賞

ホイストロボットとは、スイッチを入れると200gのおもりを自動的に2mまで持ち上げ、下ろすロボットであり、1回の上げ下げに要する時間を競うコンテストを実施しました。ロボットのサイズや使用する電源などに関するルールに従い、配布した模型用モータを利用して学生が一人一機を作りました。

7/2 ビジュアルシンキング ホイストロボットコンテスト成績優秀者

順位	学籍番号	名前	タイム
1位	1X13B170	本田 孟	6.0秒
2位	1X13B147	萩原 晨功	6.4秒
3位	1X13B081	佐治 義紀	6.9秒



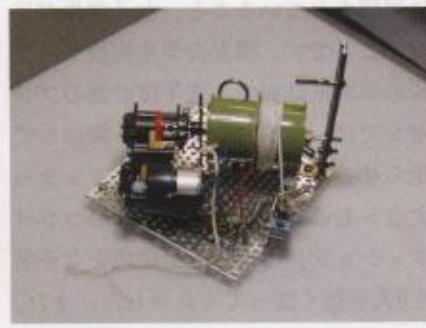
佐治義紀君 本田孟君 萩原晨功君 上杉先生

<受賞者によるメカニズムの説明>



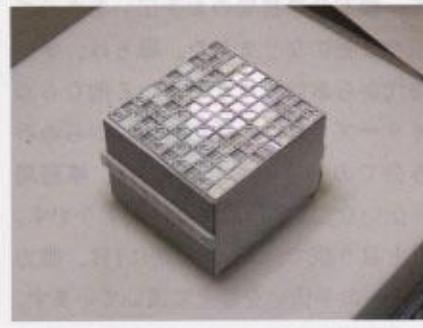
1X13B170 本田 孟

ある一定の長さの糸が巻き上げられると、ジャーが引っ張られ、抜けるというシンプルな構造にすることで成功率をあげた。



1X13B147 萩原 晨功

重りを2メートル巻き上げると、重りのついた糸が巻かれた軸がばねの力で動力から引き離され、重りが落ちる。



1X13B081 佐治 義紀

おもりの巻き上げと同時に、モータの支えに取り付けられた糸も巻き取り、所定の位置になると支えが引き抜かれてモータが外れる。

サポート費のご協力有難うございました。

2013年4月1日より8月31日の間に62名、2グループの方々より、総額454,000円のサポート費のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。昨年の同時期に比べてかなり増えました。誠にありがとうございました。

機友会活動を維持するための資金につきましては、会費のみでの運営ではたいへん厳しい状態、となってきております。また、学生支援をより活発化させるべく、サークル活動の支援、奨学論文賞の拡充等今後の大きな課題として取上げています。

どうか、今後とも皆様の多大なるご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願ひ申し上げる次第です。

卒年	氏名
昭和15年	羽田 勝彦
昭和21年	吉森 信夫
昭和22年	田村 献
昭和22年	清水 八郎
昭和25年	平野 俊雄
昭和27年	新井 保文
昭和27年	太田 公陽
昭和27年	川上 幸作
昭和27年	杉島 和三郎
昭和28年	小田垣 徳幸
昭和28年	仁木 基文

卒年	氏名
昭和30年	石川 吉通
昭和30年	鈴木 孝
昭和31年	井上 義祐
昭和31年	増田 昌士
昭和32年	江口 昌典
昭和32年	佐伯 俊造
昭和32年	馬渡 昭雄
昭和32年	西村 幹夫
昭和33年	香川 達雄
昭和33年	健山 一郎
昭和33年	近藤 芳夫

卒年	氏名
昭和33年	佐藤 智士
昭和33年	佐渡 弘一
昭和34年	谷井 由紀夫
昭和34年	山口 富士夫
昭和35年	大西 正純
昭和35年	小野 弘正
昭和35年	高草木 宏
昭和35年	間口 英男
昭和35年	水谷 進一
昭和35年	寺崎 均
昭和35年	松原 宏
昭和36年	内藤 重信

卒年	氏名
昭和37年	生井 義久
昭和37年	村山 常昭
昭和38年	大島 義邦
昭和38年	梶山 亨
昭和39年	佐竹 俊吾
昭和40年	高草木 宏
昭和40年	長尾 光男
昭和41年	山田 真己
昭和41年	上法 明男
昭和42年	四ッ井 泰彦

卒年	氏名
昭和42年	胡屋 謙二郎
昭和43年	上野 漢
昭和43年	鬼澤 秀夫
昭和43年	小林 三郎
昭和45年	萩澤 亘保
昭和45年	松島 善幸
昭和46年	森村 恒夫
昭和49年	長尾 光男
昭和49年	山田 真己
昭和50年	上法 明男
昭和52年	四ッ井 泰彦

卒年	氏名
昭和52年	玉岡 一博
昭和55年	伊藤 正徳
昭和56年	瀬在 昭弘
平成4年	木島 基博
平成21年	菅埜 啓史
	山本研OB・OG会 三十五会

2013.8.31現在（敬称略）

会員訃報

2013年3月以降、下記の会員の訃報についての連絡がありました。

ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。（敬称略）

卒年	学歴	氏名	逝去年月
昭和5年	旧機械	大同 四郎	2011.11
昭和11年	旧機械	兵頭 健次	2011.12
昭和14年	旧機械	花房 正一	2013.5
昭和15年	旧機械	平川 元	
昭和16年	旧機械	高森 信男	2013.4
昭和19年	旧機械	北出 浩三	2012.7
昭和20年	旧機械	勝田 勝太郎	2013.3
昭和20年	旧機械	増井 光男	2012.2

卒年	学歴	氏名	逝去年月
昭和21年	旧機械	小野田 徹	2009.1
昭和23年	専機	林 昭文	2007.12
昭和24年	専運	浦鳴 政雄	2013.7
昭和26年	一機械	神保 新一	2007.12
昭和27年	一機械	内田 薫	2004.2
昭和27年	一機械	藤吉 忠直	2009.5
昭和27年	一機械	吉永 昭男	2008.8
昭和30年	二機械	西村 幸介	2009.9

卒年	学歴	氏名	逝去年月
昭和33年	二機械	金子 翼	2008.9
昭和37年	一機械	江口 喜夫	2009.7
昭和38年	一機械	木村 龍彦	2010.1
昭和39年	一機械	藤田 淳久	2008.9
昭和42年	機械	式守 誠司	2009.4
昭和47年	機械	藤田 泰二郎	2008.9
昭和55年	機械	水島 由加利	2009.1
昭和55年	機械	峯田 靖之	2009.8

2013.8.31現在

機友会事務局の新人紹介

体力で頑張ってます!!

昭和50年卒 井古田忠雄

初めてまして。昭和50年（52年修士）山根研卒の井古田忠雄です。縁あって、機友会事務局のお手伝いをさせて頂くことになりました。縁とは、学生時代からお世話になっている他ならぬオリーブ（佐々木洋子さん）からの呑み会での一言です。「あんた、事務局手伝いなさい。」これで、決まりです。と言う訳で、3月より週に1日、微力ながらお手伝いをさせて頂いています。昔と変わらないキャンパスに（ワシノの旋盤も健在です）足を踏み入れて驚いたことは、機械工学科が「基幹理

工学部機械学科・航空学科」と「創造理工学部・総合機械工学科」の2学科に再編されていること、女子学生が目立つことです。機友会学生支援サークルの年次活動報告・来年度計画のプレゼンでは、実際に車を一から製作して走らせる「全日本学生フォーミュラ大会～ものづくり・デザインのコンペティション」での苦労や成果を女子学生3人が熱く語ってくれました。また、機友会イブニングサロンでは、「塑性加工（浅川教授）」の講演を聴かせて頂き、ソフトウエア業界にいる私として

は、やはり機械屋はハードに感動するものと改めて認識させられました。

このように、機友会では学生、OBを対象にしたイベントが企画されています。今後は機友会事務局の一員として、学生、OBの皆さんに機友会をより知って頂くための情報を発信するよう努めさせて頂きますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



機友会ゴルフコンペ開催報告

ゴルフ委員会

機友会ゴルフコンペ開催報告（第30回記念大会）

昭和44年卒 芳賀 研二

平成9年5月27日に始まった機友会ゴルフ大会は、今年（平成25年）で30回目を迎えました。

この大会を「第30回記念大会」と銘打ち5月16日、川崎国際生田緑地ゴルフ場にて65名というこれまでに例のないたくさんの方が集い、五月晴れの下、元気にゴルフを楽しみました。

今回は第30回記念大会ということもあり、機友会の銘の入ったネームプレートとマーカーを参加者全員に贈呈するという企画もあり、開催直前に欠席を取り消して参加申し込みをさせていただきました。幹事の方には大変ご迷惑をおかけしました。

私は5年後輩の49年卒中谷様、萩原様、中村様と一緒にプレーしました。皆さんとは研究室での話、現況の話をしながら、楽しくゴルフをさせていただきました。そのせいか前半のインコースでは38という信じられないスコアが出、後半も30台をと意気込みましたが、力が入りすぎアウトは42で終わりました。

競技は隠しホール6ホールのペリア方式、上限なしというルールなので、優勝は関係ないと思って表彰式では氣

楽に周りの方々と懇談していましたが、優勝は特別参加の池本昌子様で準優勝の私が繰り上げ優勝ということになってしまいました。

グロス80、ハンド12、ネット68。隠しホール6ホールのうち、ダボが1つ、ボギーが3つ入るという幸運に恵まれた優勝でした。ちなみにペスグロは37年卒の大柴恭様。アウト39、イン40の79.でした。

私が機友会ゴルフ大会に始めて参加したのは第6回大会。10数年以上も前、機友会の懇親会の席で林郁彦先生から参加を勧められたのがきっかけでした。

林先生と一緒に組でプレイをさせていただき、ゴルフ談義や研究室での懐かしい話に盛り上がったのを昨日の様に思い出されます。たまたまその時優勝してしまい、その翌年のゴルフコンペの幹事を言い渡されて困った思い出があります。

当時まだ現役で仕事が忙しく、林先生に誘われたので会社には理由を言わずに休みを取り、参加したのでした。それが優勝幹事ということになり、2年連続で平日を休んで参加するということになったわけですが、幹事といって



も何もできず、石岡先輩になにからなにまでお世話になってしまいました。石岡様にはこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

そのころは数組の参加だったのが、今回はなんと17組。私もまだ50代半ばだったのが、今は60代後半。月日の経つことの早いこと。びっくりしています。

これからも、この機友会のゴルフコンペが末永く続いていき、年代を超えた早稲田OBの輪が大きく、強くなっていくことを願っております。

このコンペを支えてくれている幹事およびゴルフ委員の方々、機友会事務局の皆さんに心から感謝申し上げます。



全員集合写真

入院日記

機友会事務局 佐々木洋子（オリーブ）

大学の職員退職後約10年間機友会で働かせていただきました。本人としては呆け防止のつもりで週2日位勤務していましたが、機械科連絡事務所とちがい、機友会の事務は大分違っていました。また、この10年の間で機械工学科と機友会の創設100周年という記念すべき式典に遭遇し、自分では感じなくても経験と体力とではカバーしきれないストレスとエネルギーの負担が相当掛っていたのですね……。

実は、ここからが入院日記の本題に入ります。

在職中の私は、先生方を始め多くの方から、「いつも元気だねー」と云われてきました。大きな病気もせず、まして入院は今回初めてでした。しかも白血病と言う大変な病気でした。

最初は風邪かと思い近くの診療所に

そういう病院に入院できたのも、とても良かったと思っています。ある卒業生いわく、「早稲田だけでなく東大も入れてよかったです」と冗談に云われました。

治療については初めの2ヶ月間は良く覚えていませんが、24時間抗がん剤も含む点滴がカテーテルに入れられていて、トイレに行くのも一緒でした。その時、五七五の一旬「入院中点滴片手に治療かな」「眠い中尿意もよおしてトイレ行く」

ご存じだと思いますが、血液中には白血球、赤血球、血小板がバランスよく流れているのですが、私が入院した時の白血球の数は11月の検査で20万以上にもなっていてこれを下げ、自力で上がってくるまで約2ヶ月位かかりました。検査は全て血液からで、週2~3回採血があります。

ある患者さんが、看護師さんのことを見舞いに来てください、誠に有難うございました。



社会復帰訓練で八芳園にて

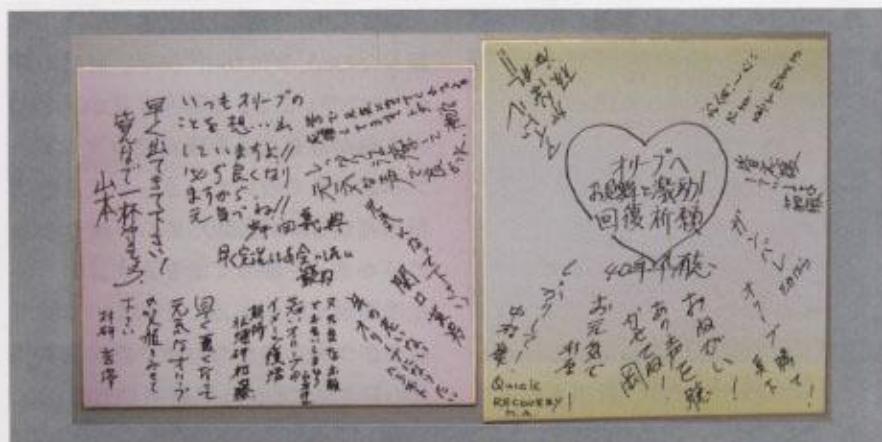
フロア全体が無菌室になっているので、人に会う事も一階の売店も入院費を払いに行くこともできないのです。ここで兄と中学からの友達には本当にお世話になりました。また、外出許可が出た時、卒業生・職員時代の友達には社会復帰として、外出と一緒に歩いてもらいました。また、たくさんの方にお見舞いに来ていただき、誠に有難うございました。

楽しい一週間位が過ぎるとまた、白血球が下がってきて病院内で静かに過ごします。この時期は、無理をしないで、特に頭等をぶつからないように用心しなくてはいけない期間です。一度気を失い部屋の床に頭からひっくりかえりましたが、看護師さんのフォローで直接倒れないで良かったと思っています。その繰り返しで点滴治療が続き、6ヶ月間入院しました。

私にとって、初めての入院なので、他の病院と比較はできませんが、楽しみの食事はとても気を使ってくれました。家庭的な食事の提供と称して食器は温かみのある陶器で、クリスマスの時お正月の時などは、それなりの食事が出来ます。また、1週間前には献立表が回ってきてA、Bの選択が出来、美味しく楽しみに食べていました。

退院する前の1週間位は、朝食だけ、フロアから富士山が良く見えるランジで、他の患者さんと一緒に食べていました。

特に10代、20代の若い患者さんとは話があり、看護師さんには「話ができるわねー」と言わっていました。これは大学での職員の経験が体にしみ込んでいます。



40年卒業生からの激励文 平成24年12月

行くと、急性肺炎ですから直ぐ入院してくださいと言われ港区の芝病院に入院し、翌日には血液検査したらしく白血病といわれ救急車で昨年の10月31日に東京大学の医科学研究所付属病院に約6ヶ月入院していました。白血病とはご存じでしょうが、血液のガンで、今現在直接的な原因はわからないそうです。日々、医科学研究所では、「なぜかかるのか?」について研究されているそうで、東大医科学研究所付属病院は血液の研究では日本一だそうです。

言った時、その看護師さんは、「白衣の天使」と答えたそうです。

入院中の楽しみは看護師さんと話すこととテレビをみることでした。また携帯電話でみんなとお話しする事が出来ました。たいへん良かったです。おかげで6ヶ月でテレビカードの代金、洗濯代も含め約10万円位はかかりました。

また、白血球があがると抗体（免疫性）が出来、外出が許可されます。この間、1週間位しか人に会ったり外出することはできないのです。普段は7階

なものでしょうか……。しかし、退院しても1ヶ月に1回は病院に通院し、血液検査と骨髄液検査は半年に一度、続けていきます。でも寛解までには2年以上かかります。この間、風邪とか熱ができることに気を付けて生活しなくてはいけません。「無理は禁物」です。

最後に機友会事務局で10年が経ちましたが、これを期に一線からは退きたいと思います。その後は、アドバイザーとして少しだけ顔を出していきます。

長い間、卒業生の方々には、大変お世話になりました。ここにお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

追伸

卒業生の皆様も、私と同じように、いろいろなことを体験されていると思いますので、是非投稿して見てください。ご連絡をお待ちしています。



東大病院医学研究所正門と病棟

会員の投稿

こんな発明をしました!

昭和35年卒 菊地重信

剥がし代作成機能付きテープカッター

一度貼ったテープを剥がすのに皆苦労します。そこで、使用後に、簡単な操作でテープの端を折り返して、剥がし代を作成するテープカッターを発明しましたので紹介します。下図のような構造をしています。



このように剥がし代が出来ます

剥がし代の作成方法：テープを使用してカットした後、図の（A）の部分が（B）に接するまで先端部回転体を回転させます。すると次に使うための剥がし代が作成されます。もちろん普通のカッターとして使用することもできます。

特許 第4357370,5331276

テープカッター使用順序



事務局からのお知らせ

第33回早大モビリティシンポジウムの開催案内

日 時：2013年11月16日（土）

10:00～17:00

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス
57号館202教室

特別講演：横浜ゴム㈱ 代表取締役社長野地彦寿氏「自動車用タイヤ技術の将来と我社の展望」（仮題）昭和57年機械科卒（齊藤研）、他、新技術講演が多数行われます。

詳細は、HPをご覧下さい。

第31回 機友会ゴルフ大会のお知らせ

場 所：川崎国際生田緑地ゴルフ場

〒214-0032 川崎市桙形7-1-10

TEL：044-934-1555

日 時：平成25年11月14日（木）

集合7:30 スタート8:00

費 用：20,000円

（プレー費 16,000円 参加費 4,000円）

申込先：機友会事務局

TEL/FAX：03-3205-9727

E-mail：waseda-kiyukai@ktb.biglobe.ne.jp

問合せ：機友会事務局

（月、火、木、金の10:00～17:00）

申込みは先着順です。どうかお早めにお申込みください。

機友会ゴルフ委員会

「田島清瀬先生を偲ぶ会」のご案内

本年3月5日に名誉教授田島先生がご逝去されました。下記の通り偲ぶ会が開催されます。

日 時：平成25年11月9日（土） 17:00～

（受付開始4時30分）

会 場：京王プラザホテル

問合せ先：機友会事務局まで

TEL/FAX 03-3205-9727

会費納入について

機友会の活動は皆様からの会費を財源に運営されています。会費納入について、是非皆様のご理解、ご協力をいただきよろしくお願ひいたします。

会費は1年間分 3,000円 4年間分 12,000円

会費納入については郵便局または下記銀行からお振込みください。

※銀行からの場合

三菱東京UFJ銀行 新宿通支店 普通口座 №2460079

お振込みの際は同姓同名の方がありますので、卒年・氏名（フリガナ）を必ずご記入ください。

※郵便局からの場合

ニュースレターに同封されている郵便局の振込用紙は全員の方に同封しています。昭和34年以前卒業の方、当年度までの会費の納入済の方、及び口座振替の方にはサポート費と印字した振込用紙を同封しています。ご支援を賜りたくよろしくお願ひいたします。

※当年度から会費を払う場合

今まで会費を一度も納入してない方、過去何年か納入されていない方が、遡って納入される方があります。たいへんお気使いいただき有難いのですが、会費を遡っていただく規則がありませんので、当年からの会費として納入をお願いいたします。

昭和32年卒機友会懇親会

32年卒業の懇親会は竹内ラウンジで行うようになって、6年になります。いつもたくさんのご出席有難うございます。

今年も下記のとおり行います。奮って参加してください。

場 所 早稲田大学理工キャンパス 55号館竹内ラウンジ

日 時 毎年4月および10月の第3火曜日（13:00～）

・平成25年10月15日

会 費 3,000円程度。酒類は大学構内では入手不可、

持込みは可

幹事有志 江口、石岡、石浜、大石、西野入・他

会費納入の自動引落し窓口を開設しています

会費納入に振込みの手間がかからない銀行口座自動引落しの窓口を設けています。

会費は1年間2,750円と少しだけお安くなっています。

ご利用される方は申込み用紙をお送りしますので事務局までご連絡ください。口座自動引落しは毎年4月18日（休日の場合は翌日）となります。たとえば5月に申込みをいただいたても、翌年の4月からになります。

機友会ホームページをご覧ください

事務局からのお知らせとして、総会・見学会・イブニングサロン、知的財産ネットワークその開催行事等のご案内、また発行済のニュースレターを掲載しています。是非ご覧ください。

<http://www.kiyukai.mech.waseda.ac.jp>

編集後記

事務局のメンバーでニュースレターを編集している佐々木洋子さんは、しばらく入院治療していたのですが、退院し、今号から編集に復帰しました。回復おめでとうございます。

田島清瀬名誉教授がお亡くなりになりました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。また今年の夏は、例年になく異常で、晴れると猛暑、雨が降れば豪雨というありさまでしたが、ようやくさわやかな秋の到来を感じられる毎日となりました。機友会では、学生会員、OB会員、教員の連携を推進することが大きな使命であります。この使命を果たすために、今後も皆様のご支援をよろしくお願いいたします。（荻須吉洋）

機友会事務局

月、火、木、金 の 10:00～16:00
伊藤、井古田、荻須、佐々木

〒169-8555

東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学理工学部内55号館S棟2階
電話 03-3203-4141(大代表)
内線73-5252

TEL/FAX

03-3205-9727 (直通)

WME ニュースレター 第39号
発行元 早稲田機友会編集委員会

印刷 神谷印刷株式会社
〒171-0039 東京都豊島区高田1-6-24



理工学部校舎耐震工事中（52号館）